

寒河江中部地区ワークショップのまとめ

【子育て】

地域の現状と課題	解決・対応策	役割 (行政・地域・協働)	時間軸 (短期・中期・長期)
学童保育の利用費の補助があるとよい。 子どもが長期休暇中に利用しづらい。子ども1人で留守番させるのが心配。	補助制度の拡充。	協働	短期
(学童利用負担の低減)	所得を増やす。		長期
市内の民間幼稚園が宗教系の法人しかない。 (多様な教育思想を持つ幼稚園が無い(英語教育に力を入れた園等))	幼稚園を誘致する。	地域	中期～長期
学童保育の受け皿がない。学童保育が定員を超過し、運営に支障が出ている。今後も児童は増えるものの、その後、人口が減る見込みなので、増設はしないとのことだが、保護者が心配している。	学校施設整備に合わせた学童保育施設の整備を行う。 (学童保育の充実)	協働	短期～中期
地域住民が子どもを見守れる環境づくりが必要。	子ども見守り施設(シニアと子どもの交流できる施設)の整備。	地域	短期
	散歩するお年寄りの見守り(目が行き届く)。		
平日、子ども同士が遊べる環境がない。	学校の校庭開放。	行政	長期
	校庭開放の時間を決めたり、スケジュールを子ども自身が確認できたりするようにする。		
	シニアの力を活用した「やまがた他孫(たまご)育て※」活動の取組みの実施。 (例)公園で鬼ごっこ、公民館で勉強会、ゲーム大会⇒お年寄り子どもが共存するまちづくり構築。 高齢者のリハビリの一環として、子どもたちを見てくれる場所をつくる。		
	大人の目を増やすコミュニティの場をつくる。		
	学校跡地・市立病院跡地にシニア世代が支える子ども見守り施設を設置する。外で遊びたくなる「まちなか広場」の活用。 (参考:神奈川県川崎市にある子どもたちの居場所「子ども夢パーク」)		
(外遊びをする子どもの数が少ない。)	近くの公園に遊具がないため整備する。	協働	短期
	見守りボランティアを創設する。		

	身近に屋外遊具施設の充実。 (バスケットゴールの設置)	行政	短期
	子どもの「生きる力(非認知能力※)」に影響を及ぼすことから、身近な公園にバスケットボールコート等の少人数でも楽しめる屋外遊具施設が必要である。		
子どもの非行に対するまちぐるみの対応。子どもがコンビニで煙草を買うことができる。	山形県青少年健全育成県民運動への積極的な取り組みを行う。	協働	短期
	保護者への意識調査やセミナー出席など。		
	PTA役員以外の保護者にも活動してもらう。		
	リタイアした警察官の見回り。		
高校生まで医療費の無料化	どれだけ医療費が掛かっているか明示する。(適正に受診の疑問)	協働	短期
子どもたちが外で遊ぶ姿を見ることが少ない。	地区子ども会の再生	地域	中期

【教育】

地域の現状と課題	解決・対応策	役割 (行政・地域・協働)	時間軸 (短期・中期・長期)
学校の指導方法(清潔検査など)が古い。	清潔検査は身だしなみであり、家庭がやるもの。	協働	短期
地域の中にどんな仕事があるのか、小さい頃に(高校生までに)知る機会がない。	学校や生涯学習の場で、知る機会を作る。	協働	短期
学校給食のおかずの量が少ない。 (から揚げ1個の時もあった。費用負担してでも量を増やしてほしい)	給食費の予算を増やす。	協働	短期
	所得が多い人から多く給食費をもらう(傾斜配分)。		
	所得に応じて有料化する(所得の多い人は有料)。		
子育てしやすい環境の整備。 子育て世代に選ばれる、まちづくり。 (特色のある教育)	特色のある学校を増やす(すべての学校が同じではなく)。	行政	短期
	学校を選択できる仕組みを作る。		
	最先端の教育プログラムの導入(選んでもらえるような)。		
小中学校の給食の量が少なすぎる。子どもから足りないという声がある。	米どころの県なのでご飯の量は増やせるはず。	協働	短期～長期

	栄養価がホームページに公開されておらず、盛り付け量(g)も不明。他市町では、文部科学省の児童・生徒の学校給食摂取基準に合わせた献立になっており、各年代の食材・料理ごとの摂取量の目安(ご飯やパンの量)が公開されている。		
	子どもの声が行政へ伝わる仕組み。		
	子どもアンケート結果を反映した給食量の実現。調査結果に応じ翌年度の給食量を調整する。		
保健室の養護教諭の不在。	休職した場合の臨時補充。	行政	短期
子どもに通わせたいと思う小学校がない。	「答えがひとつではない」教育の導入(ノンカリキュラム法など)。	行政	長期
	時間割や通知表がないフリースクールの立ち上げ。	行政	中期
学校に通わせるには、学区が大き過ぎる。		行政	中期

【福祉(高齢者福祉)】

地域の現状と課題	解決・対応策	役割 (行政・地域・協働)	時間軸 (短期・中期・長期)
民生委員の高齢化(若いと訪問時にセールスと疑われる場合もあるが…)。		協働	短期
一人暮らし要介護老人のゴミ出しへの対応について	他自治体の取組みを参考にする。 山形市:家の前にバケツを出しておき、市が回収する(民生委員任せにしない)。 新潟市:中学生ボランティアが通学時に朝の挨拶に行き、ゴミを持って行く(学校と地域の協働)。	協働	短期
高齢者の運転免許。危険性があるが、免許更新となると運転してしまう。運転免許返納後、高齢者等の買い物困難者が安価で安全に移動できる手段が必要。	同じ目的を持つ者同士で利用可能なサービスの充実➡相乗りサービスを活用した大型店舗への中距離移動手段(ライドシェア)の取組み。	協働	中期～長期
	免許返納後のシニア世代が集まる雪に強い高齢者集合住宅を造成し、雪国に住み続けたくなるようなまちづくりの整備(高齢者共同住宅区画:カワチ西側用地)。共同区画と学校や公民館をマイクロバスで移動し、他孫育て活動に支援いただく。全自動運転サービスを活用した生活環境の整備。 入居条件/免許証を所有していない、他孫育て活動をしていただける、一般的な除雪活動ができる		

	高齢者共同住宅区画の住宅は、車を所有していないため間口部分の除雪で済み、屋根の雪下ろしが不要な住宅を整備する。		
お年寄りの生活環境（市内循環バスのルートが2系統ではあるが、目的地にまっすぐ行けず周遊するため、移動時間がかかる場合があり、不便である）。	市内で気軽に乗れる公共の乗り物の充実。	協働	中期～長期

【福祉(医療)】

地域の現状と課題	解決・対応策	役割 (行政・地域・協働)	時間軸 (短期・中期・長期)
子育てしやすい環境の整備。 子育て世代に選ばれる、まちづくり。 (小児科の設置)	市立病院に小児科を設置する。	行政	中期
	夜間診療の充実。		
	医師の呼び込み(確保)のために医師の生活環境(衣食住の支援)。		
公立病院が1つだけ。診療科も限定的。	新病院で診療科を増やす。	協働	短期～中期
	診療機関を誘致する。		
	オンライン診療の検討。		
小児科が少ない(にとう小児科医院、鬼海小児科)ため、市外の小児科へ行っている。他市に比べ1小児科あたりの対象者が倍の人数の現状。	3歳以上の場合になるが、内科を受診するという選択もある。	行政	中期～長期
	受診し易いように市内の病院の診療内容、診療対象のリーフレットを作成する。		
	新病院に、小児科・こども救急外来を設置する。体調変化が激しい子どもへの医療ケアが必要。夜間対応も必要。		
	病児保育の設置。		
産婦人科の病院でなく、母子に寄り添った出産ができる助産院がない。	母子に寄り添うことができる助産院を立ち上げ。	行政	長期

【公共施設】

地域の現状と課題	解決・対応策	役割 (行政・地域・協働)	時間軸 (短期・中期・長期)
CLAAPIN(クラッピン)を予約する際、いい時間帯がとれない。	予約可能期間を早くするなど市民優遇を検討。	協働	短期
	近いので、計画的に予約をしないことが多い。		
	有料化する。		
	有料化した分をチェリーランドで使える「お買い物券」でお返ししてはどうか。		

国道458号が一部未舗装となっており、利用できない。	山形県へ要望する。	行政	短期
	「酷道」として活用する。		
スケートパークが冬季間、利用できない。	屋内スケートパークに改築する。	協働	短期
災害時の避難場所が少ない。	大規模なコミュニティセンターが必要。	協働	中期～長期
学区内に公園や公共施設が少なく、子どもたちの集まる場所が少ない(市立図書館・ハートフルは学区外)。	大規模なコミュニティセンターが必要。	協働	中期～長期
	市立病院の跡地に児童センターやコミュニティセンターを作る(跡地の有効活用)。		
公民館が狭く、子どもが集まってのイベントができない(陵南町は子ども会が200人)。			
公民館が老朽化して、修繕が進んでいない。敷地内の遊具も低学年向けが多く、みんなが使うのが困難。			
公園や児童センター等が近くになく、子どもたちの遊ぶ環境が少ない。	学校などの施設の利活用について検討する(スポ少などの日程も考慮しながら開放について検討できないか?)。	協働	短期
	栄町・陵南町などの児童数が増加している地域の公園の遊具を増やす。		
産業通りの朝夕の通勤ラッシュ時は車が渋滞。歩道が狭く、自転車レーンがないため、歩行者が危険。	右折レーンの設置や時差式信号の導入。	行政	短期
道路が経年劣化等により陥没等がみられる箇所が増えている。市へ連絡してもなかなか修繕してもらえない。		行政	短期～長期
産業通りから熊坂整形外科前の踏切までの歩道が狭く、通学に危険が生じている。フードセンターたかき前の歩道が狭く、陸橋までの間の誘導もないため危険。車の通行も多い。	踏切から産業通りまでは県道につき県への要望を行う	行政	中期
セブイレブン寒河江仲谷地店前の交差点では、歩道利用者が多いので信号機の設置が必要。	地元から信号機設置の要望を出す。	地域	短期
着工予定であった道路の整備。	船橋地内の未着工の道路を開通することで渋滞緩和・生活改善につながる。	行政	長期
工業団地の企業誘致や人口増につなげるためにも平塩橋の拡張(整備)が必要。	平塩橋の整備により、市内の狭い住宅地を通り抜けする車の交通量が減少する。	行政	長期
朝の通勤・通学時間の交差点渋滞(仁藤油店交差点)。	信号を歩車分離式信号に変える。	協働	中期
	通学路を考え直す。		

公民館の老朽化。 (寄付が集まらない、維持が大変)	施設の要・不要の選択(必ず一地区に一棟は必要ない)。	協働	中期
	コンパクトシティ。		
大雨時に道路が冠水する。	沼川川底の泥上げや整地が必要。	協働	短期
気楽に地区民(子どもから高齢者まで)が集まれる場所がない。	コミュニティセンターを各地区に整備する。	協働	長期
フローラ・SAGAEが活用されていない。	定期的に人を呼べるイベントを実施してはどうか。	協働	短期
サイクリングロードが凸凹。		行政	短期

【生活環境】

地域の現状と課題	解決・対応策	役割 (行政・地域・協働)	時間軸 (短期・中期・長期)
雪捨て場が少ない。元町は水の流れる側溝(融雪溝)がない。	雪捨て場を増やす。	行政	短期
	融雪溝を増やす。		
ゴミの回収回数(ペットボトルは月1回のみ)が少ない。	スーパーなどの回収もすぐ満杯になってしまう。	協働	短期
	24時間回収スポット(個人が直接搬入)の設置(東根市で実施)。		
街路樹が巨大化(特にヒノキ)し、危険かつ景観も良くない。落葉も多く、回収に使うボランティア袋が小さくて枚数が足りない。	寒河江の花であるつつじを街路樹に代わり植栽。	協働	短期
	ボランティア袋を大きくする。		
歩道全般に暗いので街灯を整備してほしい。	防犯灯設置は町会長を通じて市民生活課に依頼。	地域	短期
地域内の自然環境が少ない。学区内の緑地が少ない。		協働	長期
ゴミの違法な捨て方。地区内に不法投棄がある。		協働	短期
同じ番号(住所の番地)の家が多く判別がつかない。地域内に同じ住所の表示の家があり、回覧や町会活動に支障があった。	住居表示が複数存在する家屋については寒河江市住居番号枝番号等付番要領を令和5年度に制定し、解消に向けた取り組みを実施。	行政	長期
沼川バイパス沿道の除草がなっておらず、歩行者や道路交通の妨げとなっている。	学校のボランティア活動などを通じて清掃する機会を設ける。	協働	短期
	遊べる沼川の整備。		
沼川清掃が年々危険になっている(深さ、高さがある)ので、地域住民ではなく市で対応してほしい。		協働	短期
雪道での小中学生の通学路の確保。		協働	短期

市で実施している除雪は道路脇に集めるだけが多く、道路が狭くなる。	雪を集める場所の確保➡冬場の公園利用。	協働	短期
市街地の街路灯が少ない。	さくらんぼの街灯を増やす。	協働	中期
	街路樹をイルミネーションにしてはどうか。		
	メインストリートぐらいは明るくしないと防犯灯のみではダメ。		
街路樹のイチヨウの木が残酷なほど枝が払われている。	イチヨウではなく、ハナミズキのような花の咲く木を植えてはどうか。	行政	短期
安全安心な暮らしのため、防犯カメラを各地域に設置するべき。	補助金をもっと出すべきでは。	協働	長期
	防犯カメラと見回りを効果的に組み合わせる。		
	通学路等、必要な個所を選定し取り付ける。		
	費用面等を勘案すると、ダミーのカメラでも防犯になるのでは。		
	防犯への住民意識を高めることも必要。		

【防災】

地域の現状と課題	解決・対応策	役割 (行政・地域・協働)	時間軸 (短期・中期・長期)
大雨のたびに最上川が増水し、最上川ふるさと総合公園の際まで水が迫る。	治水対策。	行政	短期
	ゲリラ豪雨対策。		
現状の防災訓練では大地震に対応できない(町会によっては自主防災訓練を実施している)。有事の際に、どこに向かうのか、役割が何かがぼやけていて分かっていない。	市と地区合同の防災訓練の実施。	協働	短期
	大地震に備え、年ごとに地区を変えて総合防災訓練を実施。		
	自主防災訓練と合わせ町ぐるみの訓練が必要。		
	防災士の資格取得支援も必要(約6万5千円)。		
	市、町会長、区長、民生委員だけでも有事の対応を明確にし、情報共有して訓練する。		
	運動会に防災訓練を織り交ぜて行う。子どもも楽しく学べる。		
障がい者の避難対応体制はできているのか(車椅子が利用できないなど避難場所にリアリティがない)。	他自治体の事例を参考に、移動手段や避難体制など課題を抽出する。	協働	中期
災害時の防災グッズの備え。防災グッズの使い方が分からない。	寒河江市の想定される災害に合わせた防災グッズの紹介(寒河江市モデルのグッズ)。	行政	短期～中期

	防災は、まずは出来ることを実施。例えば家具の倒壊を防ぐための枠？を設置する（市の助成）。		
	防災の意識付けのためにも各家庭に防災グッズ整備を勧める（市からの半額助成）。		
	自宅用ソーラーパネル（10万円程度）への補助金を設けることにより普及し、停電時に各家庭での備えになる。		
	簡易トイレへの補助。		
避難所を設置するのは良いが、避難所がうまく運営できるようにもっと地域住民との避難所の設置や運営についての訓練を行うべきでないか。		協働	短期

【公共交通】

地域の現状と課題	解決・対応策	役割 (行政・地域・協働)	時間軸 (短期・中期・長期)
西寒河江駅の駐輪場に段差があって使いにくい。	段差をなくし、利用しやすくする。	協働	短期
日中、寒河江駅～左沢駅間の左沢線がないのが不便。	お酒や弁当付きのイベント列車を運行。	協働	短期
Suica(交通系電子マネー)が寒河江駅までしか使えない。	整備要望を行う		
国道112号に関する交通ルール 地下道がある箇所地下道を使わず歩道のない道路を自転車が往来している。		地域	短期
小学生が一人で下校していた(公共交通の活用)。	子どもが乗れる市バスの整備(循環バスの時間帯)。	行政	中期
	下校時も利用できる。		
	子どもだけで乗れる。		
循環バスが利用しにくい。近いところに行きたくても循環のため遠回りになる。本数が少なくルートが不便。	循環バスの体験会でルートを体感する。	協働	中期
	寒河江まつりなどのイベント時に循環バスを無料にして体感してもらう。		
	使い易い循環バスの整備。使える時間帯、使い易いルート。		
	バスにこだわらずタクシー等で便を増やす。		
	公共の乗り物(バス、タクシーなど)利用しやすさを考える。		
	気軽に乗れる、公共の乗り物が十分になると住みやすくなる。		

	夜間時間帯の路線バスの試行。(参考;いわき都市圏総合都市交通推進協議会の実証事業)		
市内循環バスの利用者が少ない。	二種免許がなくてもシェアライドできる仕組みを作っていく。	行政	中期
寒河江駅から左沢駅までSuica(交通系電子マネー)が使えないので不便。		地域	中期
寒河江スマートインターで降りる人がいない(降りる理由がない)。		行政	中期

【産業経済・雇用】

地域の現状と課題	解決・対応策	役割 (行政・地域・協働)	時間軸 (短期・中期・長期)
ふるさと納税の収入を増やす。		協働	短期
チェリンペイをまたやってほしい。	PayPayなど民間のオンライン決済の活用する。	協働	短期
市内にベンチャー企業がない。	ベンチャー企業を誘致する仕組み(本社移転の場合、報奨金など)。	協働	短期
	ベンチャー企業の育成。		
県外の人を連れていける飲食店が少ない。	一度だけならいいが、何回も来てもらう場合に行く店がない。	協働	短期
	昼はラーメンや蕎麦、夜はやきとりしかない。		
	幸生牛や子姫芋を食べられる場所を作る。		
働き口が足りない。	既存企業の成長力強化。 新たな企業の誘致。	協働	短期
遠方から来た人がスケートパークを利用したときの食事等のできる店舗やコンビニ等が近くにない。		地域	長期
大型家具店舗を作してほしい(近隣にない大型店舗の誘致)。		地域	長期
映画館等の娯楽施設の誘致。		地域	長期
駅前にファミリーレストラン等の誘致(駅周辺が飲み屋街で高校生等の寄れる店舗がない)。		地域	長期
中央工業団地のさらなる拡充を(人口増につなげるため)。		行政	長期
買い物(ファストファッション)がない。公共交通機関を利用して向かう手段はあるが、帰りは荷物が伴うため、自宅前までの移動手段が欲しい。	他地域の店舗(ファストファッション)への移動手段の充実。同じ目的を持つ者同士で利用可能なサービスの充実➡相乗りサービスを活用した大型店舗への中距離移動手段(ライドシェア)の取組み。	協働	中期～長期
娯楽施設(カラオケや映画館等)や商業施設(玩具店やミスド等)が少ない。		地域	長期

寒河江やきとりの売り込みが足りない。 店も減ってきている。	もっとPRするべき。	協働	短期
	寒河江ならではのもの。補助金等を創設し、店舗拡大策を図ってみる(創業支援)。		
	昼でも寒河江やきとりが食べられる店。		
教育とビジネスができる仕組みづくり(取組み)が必要なのは。		協働	中期

【観光振興・イベント】

地域の現状と課題	解決・対応策	役割 (行政・地域・協働)	時間軸 (短期・中期・長期)
家族(3世代)で行けるイベントがない。		協働	短期
寒河江が有名になったとしても、受け入れるキャパがない(宿泊・飲食)。	民泊の開拓や後継者の育成。	協働	短期
観光事業で、西村山郡の資源を一体化して売る方針・政策。	インフラの整備。	協働	短期
雨の日を楽しめる・体験できる場所は？	「ノバリア クライミングジム」の活用	協働	短期
観光資源の開発が弱い。	複合的にする。ストーリーを持たせる。	協働	短期
	(例)戊辰戦争があって、どうなったか等。		
	修験の道の活用。		
	慈恩寺でのイベント(ライブ、花火)。		
	インバウンドへの対応。		
	さくらんぼマラソン、ツール・ド・さくらんぼ等のイベント開催で宿泊や飲食といった流れを作る。		
特産品がない。	葉山高原牧場を高原さくらんぼ園に整備。キャンプ場も併設し、ロックフェスなど開催。	協働	短期
	市内企業が協働して寒河江発に商品開発。		
	農産物の商品開発・ブランド化(ユニークな農産物)。		
観光振興として施設を整備する。	冬場のキャンプの整備。	協働	短期
	ゴルフ場の整備。		
最上川ふるさと総合公園のイルミネーションについて復活してほしい。	市民の募金で復活(クラウドファンディングのような形も)。	協働	中期～長期
さくらんぼ以外に、観光客が通年で楽しめる観光施設が少ない。		協働	長期
寒河江温泉に人が来ない。	富裕層向けに、贅沢で他では体験できない宿泊パックを作ってみる。	地域	短期
インバウンド対策ができていない。	インバウンドを呼ぶ(外国人誘客)施設を絞って対策を講じる。	協働	短期
観光施設や寒河江を売り込む看板やインバウンド対応の外国語の看板がない。寒河江はPRが下手。	観光客用のPR看板を外国語標識も含め増やし、PRをもっと強化する。	協働	短期

	全国的な大会等を積極的に誘致すべきでは。		
市内に観光客受けするような映えるものがない。	今ある観光施設に磨きをかけ、PRを強化すべき。	協働	短期
	市内幹線道路に以前さくらんぼまつり時においていた「さくらんぼの苗木」を置いて、さくらんぼの寒河江をPRしてはどうか。		
ふるさと納税を使って、人が集まり賑わいのあるフルーツカフェ等を作ってはどうか。	山形県が整備を進めていた「フルーツ・ステーション」を市独自で整備してみても。	協働	短期

【地域づくり(まちづくり)・土地利用】

地域の現状と課題	解決・対応策	役割 (行政・地域・協働)	時間軸 (短期・中期・長期)
天童市や東根市へ引っ越し人がいる。	住所を移してまで行きたくなる学校を作る。	協働	長期
	天童市や西村山郡などとの市町村合併。	行政	
老若男女が社会参画できる仕組みがない。	声掛けを充実。	協働	短期
	ボランティアなどの役割内容の見える化。		
市民のための施設、イベントがない。	てとて市の復活。	協働	短期
子どもが増えない。寒河江中部小学区のみ、子どもの数が増えている。	市民が寒河江高校、寒河江工業高校に入学したら、お祝金を増額する。	協働	短期
	働き口の増加→産業育成と雇用の増加。		
	少人数で多くの学科を高校に作る。		
	寒河江高校、寒河江工業高校に新学科を増設。語学、プログラミング、土木、農林…。		
	工業団地の企業が、プロジェクトで新商品開発。寒河江発のプロダクトを作る。		
	中高一貫校+大学。		
	この学校に入って、この大学に行って、いいところに就職するという学校のサクセスストーリー。		
	ハイレベルな教育と地域教育を両方行い、地元に残させる。		
	留学生の受入拡大。 寒河江のなんでもナンバーワンを打ち出す。		
病院統合後の跡地利用はどうなるのか。	病院跡地なので宅地だと抵抗ある人がいるのではないかと。	協働	中期
	スポーツジムやカフェ、飲食店等の商業施設を作る。		

	バッティングセンターもない。		
町会行事への対応が特定の人に集中している。子ども会行事などは若い世代の大きな負担になっている。		地域	短期
外国人や他県・他市町村の方から、また来たいと思ってもらえる街づくり(インバウンドやリピーターを増やす。また来てほしいと思ってもらえるような街)。	Vチューバー等に発信してもらう。	協働	短期
寒河江市のポテンシャル高いが宣伝が下手。寒河江の良さが伝わらない。	自己肯定感を高く持ち、ヒトの真似ではなく、自分の長所を十分理解する。	協働	中期
	病院(駐車場側)跡地に「お試し生活団地」を建設する。		
	①ふるさと納税の返礼特典として期間限定で寒河江で生活体験してもらう。住んでももらえれば良さが分かる。		
	②大規模災害の際、災害公営住宅として活用する。		
	③さくらんぼボランティア用として活用する。		
出生数を増やすとなっているが、一人暮らし(未婚)を楽しんでいる。	多様な価値観、生き方についての啓発。プレッシャーをかけない。	協働	短期
近所付き合いがほとんどない。夫婦会や芋煮会等コロナ禍前はあったが無くなった。	市内で気軽に乗れる公共の乗り物の充実。	協働	中期～長期
働く場が多く、給料が高く、子育てが楽しく安心して暮らす街に。	インフラをもっと充実整備が必要。	行政	長期
	ここで産みたいと思う施策(ここで産む理由がある)の充実を。		
	住み続けるための施策(ここに住み続ける理由がある)の充実を。		
ほなみ団地の東側(ほなみ団地と国道112号の間の農地)を活用するべきでは。		協働	長期
まちを発展・拡大するために、あえて何もないところに施設をつくるべきでは。		協働	長期
ここにしかない魅力あふれる街に(他市町より自慢できるもの)。	魅力のある街なので、体験型のようなものでPRし、リピーターとなってもらえるようにする。	協働	中期
	市民向けのイベントも増やしては。		
	てとて市や冬のイルミのイベント等、前やっていたイベントを振り返って、復活させては。		